

第33回能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会（議事録）

- 1 日 時 平成30年11月6日（火） 10:30～11:30
- 2 場 所 能代市浅内自治会館
- 3 出席者 浅内自治会（柴田和郎副会長）、小野沢自治会（渡辺正史副会長）、能代南土地改良区（保坂智）、能代の産廃を考える会（原田悦子事務局長）、能代市浅内財産区（山田文雄管理会会長、淡路誠能代市総務部長）、能代市（畠山一仁環境産業部長）、秋田県（高橋修生活環境部長：委員長）【敬称略】
- 4 議 事 (1) No. 2 処分場におけるボーリング調査箇所等について
(2) その他

○秋田県 高橋生活環境部長 挨拶（要旨）

No. 2 処分場の件については今年8月に開催した本協議会で、県において「追加のボーリング調査を実施する」ということで、ご了解いただいていた。その後、地元の皆様と具体的な調査方法について、事前に協議を行い、方向性がまとまったことから、本日、その内容について最終の案として県の方針について説明し、改めて協議させていただきたいと考えている。

((1) No. 2 処分場におけるボーリング調査箇所等について、事務局で説明後、質疑応答)

<質疑の概要>

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | 事前協議等において住民要望等について協議、調整していただき、まずは感謝申し上げる。
今回のボーリング調査はNo. 2 処分場のみが対象とのことだが、住民要望であるNo. 6、5 処分場についても、平行して調査はできないのか。県の考えはどのようなものか。 |
| 県 | No. 2 処分場だけではなく、No. 6、5 処分場についても調査の要望があることは承知している。しかしながら、今回調査を行うNo. 2 処分場については、遮水シートの無い処分場であり、当然優先して対応すべきものだと考えており、まずはこちらをしっかりと片付けさせていただきたいと考えている。No. 6、5 の処分場については、今後この場であらためてご協議させていただきたいと考えており、決して、蔑ろにしているわけではないということをご理解いただきたい。 |
| 委 員 | 了解した。住民側も協力できる部分は十分に協力していく。
図面の7 B 東側の①、それと③の緑色のマーカーの辺りは、ドラム缶が残っている箇所か。 |
| 県 | その外側にドラム缶は残存している。 |
| 委 員 | 今日参加している委員の中にも、最近現場に行っていない方もいるので、残存するドラム缶について図面上での位置を確認させていただいた。 |

図面 7 B 西側の①については過去に一度掘削を行った箇所であり、ドラム缶が確認された箇所である。今回はさらに深い場所について調査するわけだが、過去の調査結果をもう一度整理した上で、実際にボーリングを行う際にはデータを擦り合わせながらポイントをおさえていただきたい。

県 図面 7 B 西側の①については過去に掘削しているところであり、当時は約 6 m 程度掘削している。今回は皆様からの要望を踏まえ、さらに 2 m 程度深い所まで確認の意味も込めて追加調査することにした。

また、ボーリングの具体的な順番等については、実際に行う段階になってから、相談させていただきたいと考えている。

委員 ボーリングのコアは 6 c m ～ 8 c m 位であるため、ドラム缶とドラム缶の隙間に入った場合はあたらないことも考えられる。コアの成分等を踏まえてドラム缶の有無を慎重に検討していただきたい。また、調査の費用についても、過大に見積もることはできないと思うが、予算不足にならないように適正に計上していただきたい。

県 過去の掘削状況も踏まえ、1 つのボーリング箇所でドラム缶が確認された場合はまとまった数のドラム缶が埋まっていることで我々も想定している。設計に際してはそのような想定の基で検討を行い、予算不足とならないよう進めていく。

委員 現在、掘削箇所のたまり水はどれ位あるか。

県 底盤から 1 . 5 m 位の水位である。

委員 来年度ボーリング調査だけでなく、たまり水を処分する予算もつけることはできないか。

県 昨年度の掘削工事が完了した段階で掘削箇所には安全対策等の観点からブルーシートを設置している。なお、その際、掘削箇所に元々溜まっていた水は全部汲み出して、その後にシートを設置している。そのため、現在のたまり水はそのほとんどが雨水と考えられるため、水質的にはそれほど汚れているものではない。

委員 昨年の掘削工事中は頻繁に現場に足を運んでいたが、最近はあまり行っていない。図面上で 7 . 5 m 間隔といってもあまりイメージが湧かない。そのため、来春の委員の方々が忙しくない時期に、現場を確認させていただきたい。

県 現場の案内はいつでも対応する。
(以上、質問等なし)

委員長 本日は N o . 2 処分場におけるボーリング調査箇所についてご理解いただいたということで、この後、県の内部で予算調整に入っていくこととなる。

来年度の当初予算に向けて、予算を確保できるよう進めたいと思うので、引き続きご協力をお願いしたい。

以上で、第 3 3 回能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会を終了する。